

Rotary Club of AMA weekly report.



2025~2026年度
国際ロータリーテーマ

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度 RI会長 フランチェスコ・アレツツォ

第2760地区ガバナー 鈴木 康仁

会長 黒川 元則 副会長 中澤 浩一

幹事 小倉 廣三

例会日 毎週月曜 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル 17F ルビナス

【公共イメージ向上委員会】

委員長 東海 広光 副委員長 神谷 智

委員 黒野晃太郎・酒井 和雄・松原 久尚・白井 幹裕

2025年 9月 22日 (晴れ) 第3週 第2520回例会

Song “4つのテスト”

Attendance

会員	60名	欠席	11名	出席率	71.79%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time

黒川元則 会長



皆さん こんにちは。

9月も半ばを過ぎ、朝夕の空気にどこか秋のお彼岸らしさを感じる涼しさになって参りました。また、昼と夜の長さがほぼ同じになる、この時期は何となく自然の移ろいを実感いたします。明日、23日「秋分の日」は中日ですが、お彼岸はご先祖様に感謝を新たにすると共に、自分の生き方を振り返る大切な機会とも言われています。ロータリーに於いても先人の築いてこられた奉仕の精神を大切に、活動を続けて参りたいと思います。

前回の麻雀大会では、初出場の浅野さんが諸先輩方を抑えて見事に優勝されました。私、黒川は8位、最下位でした。鼻息荒く向かったんですが、ものの見事にやられました。やはり謙虚さや冷静さが必要だと反省しております。

今回は欲を捨て望みたいと思っておりますが、是非一人でも多くの麻雀の弱い方にご参加をお願い致します。

さて、秋と言えば食欲の秋、芸術の秋、お祭り、スポーツの秋と言われます。食では旬の新米に始まり、秋刀魚や松茸、栗や柿とこの時期ならではの味覚を彩り、また熱鬧にも合いついつい飲み過ぎてしまう季節です。当店でも秋の味覚を取り揃えておりますので、是非ご予約をお待ちしております。

そして本日は東海公共イメージ向上委員長にフォーラムをお願いしております。クラブの細則にも公共イメージ委員会はRCの歴史、目的、情報を提供し、自クラブの適切な宣伝を行い、方策を考案しこれを実施する。クラブ会報によって関心を促して出席の向上を図り、プログラムの発表、例会の重要事項の報告、親睦等ニュースを伝えるべく努めるとあります。外向きと内向きの発信がありますが、本日は原点に立ち戻り、「公共イメージとは」と言う所で、新しい発想でとお聞きしておりますので、よろしくお願い致します会長挨拶とさせていただきます。

Today 9月29日 (第2521回)
担当 山田朝子 プログラム委員長
演題 卓話
株式会社総合社会環境調査
代表取締役社長 小池 勝孝様

Next Week 10月6日 (第2522回)
担当 神野恭寿 米山奨学委員長
演題 クラブフォーラム

Secretary Report (幹事報告)

小倉廣三 幹事

1. 10月23日(木)、伏見にあります電気文化会館5階にて、「感染症と人類の闘い〜ポリオ根絶まであと一歩 いま、私たちにできることは〜」と題した、尾身茂氏による講演会が開催されます。定員は先着 300 名となっており、事前の応募が必要です。参加をご希望の方は、事務局までご連絡ください。また、ロータリアン以外の方も大歓迎です。ぜひお知り合いの方も誘いのうえ、ご参加ください。
2. 会員名簿・出欠表など、これまでアルファベット順で記載していましたが、今後は五十音順での記載とさせていただきます。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
3. 酒井和雄会員 理事会承認を経まして令和7年8月末日をもって正式に退会となりました。
4. 木戸真弓会員 理事会承認を経まして令和7年7月末日をもって正式に退会となりました。
5. 令和7年10月24日(金)津島ロータリークラブ様親睦ボウリング大会を津島市サンガーデンボウリング場にて開催いたします。奮ってご参加下さい。

ニ コ ボ ッ ク ス

ご投函有り難うございます

黒川元則 会長

東海公共イメージ向上委員長、本日のフォーラムよろしくお願ひいたします。

中澤浩一 副会長

だいぶ涼しくなってきました。今日はクラブフォーラム、東海委員長よろしくお願ひ致します。

小倉廣三 幹事

今日はクラブフォーラムです。東海公共イメージ向上委員長よろしくお願ひ致します。

家田安啓 君

明日、23日に亡き妻の四十九日の法事を行い、納骨します。これまで皆様の気遣い、心遣いに深く感謝します。時が過ぎるのは早いものですね。

黒野晃太郎 君

後藤雅光さんを偲んで。

池崎晴美 君

9/17~9/20まで北海道へ行ってきました。3泊4日で5つの小中学校でハッピートークの授業を行いました。北海道新聞など3社の取材も受け、充実した北海道でした。皆様、いつも応援ありがとうございます。

浅野世志雄 君

麻雀大会で勝たせて戴きありがとうございました。12月6日出席できるよう空けておきます。

水野眞 君

朝は涼しくなりましたが、暑い日はまだまだ続きます。ご自愛ください。

伊藤英毅 君

朝は涼しくなりましたが、暑い日はまだまだ続きます。ご自愛ください。

加藤憲治 君

ニコボックス委員会のみなさんお疲れ様です。

木内友也 君

ニコボックス委員会のみなさんお疲れ様です。

大竹敬一 君

今日はクラブフォーラムです。東海公共イメージ向上委員長よろしくお願ひ致します。

後藤裕一 君

今日はクラブフォーラムです。東海公共イメージ向上委員長よろしくお願ひ致します。

鈴村興左衛門 君

今日はクラブフォーラムです。東海公共イメージ向上委員長よろしくお願ひ致します。

武井正 君

今日はクラブフォーラムです。東海公共イメージ向上委員長よろしくお願ひ致します。

服部竜也 君

今日はクラブフォーラムです。東海公共イメージ向上委員長よろしくお願ひ致します。

板津和博 君

今日はクラブフォーラムです。東海公共イメージ向上委員長よろしくお願ひ致します。

田中正博 君

今日はクラブフォーラムです。東海公共イメージ向上委員長よろしくお願ひ致します。

北川裕士 君

今日はクラブフォーラムです。東海公共イメージ向上委員長よろしくお願ひ致します。

水谷安紀 君

今日はクラブフォーラムです。東海公共イメージ向上委員長よろしくお願ひ致します。

合 計 62,000円



タクトを振るソングリーダー 田中正博君の様子

ク ラ ブ フ ォ ー ラ ム

「公共イメージ向上委員会の卓話」

公共イメージ向上委員長 東海 広光君



公共イメージ向上委員会の地区委員長会議が今日 15 時 30 分より東急ホテルにて開催されます。

事務局より資料をいただきました。委員長会議の目的は

- ① ロータリー公共イメージ向上の必要性・重要性を委員長の皆さまに理解していただき、クラブの公共イメージ向上に役立ててもらう。
- ② 奉仕事業の効果的な発信方法を学び、クラブの HP や SNS で活用してもらう。

とありました。広く地域であま RC のことを発信し認知していただくには仲間を増やさないとはいけません。

今、あま RC の会員数は現在 60 名です。1969 年 25 名のチャーターメンバーでスタートした我がクラブは 5 年後に 60 名となりピーク時には 110 名に迫る勢いでした。もし現状の 60 名を切るようなことが起きればいっきに 50 名を切ってしまうような気がします。6 月末で児玉さん、青本さん、8 月末で酒井さん、木戸さんが退会されました。酒井さんは我がクラブで入会順 3 番目のメンバーで第 37 代会長も努められ 42 年在籍されました。児玉さんは 17 年在籍され地区へ出向し国際奉仕委員会副委員長まで務めていただきました。青本さんは 6 年前に「家族の命を守るカード」配布プロジェクトのリーダーを務めていただきました。木戸さんは子ども食堂の件でご尽力をいただきました。そんなロータリーを頑張ってリードしていただいた方々が退会されるということは、何かあま RC 側にも原因があるのではと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

今、あま RC は創立以来の危機がきていると思います。ここで踏ん張って会員を増やさないといけません。また退会者をいかに無くすかということにも取り組んでいかなくてはなりません。このことを今後我がクラブの課題として会員全員で共有しこの危機を乗り越えなくてはならないと思います。今日 10 年前に作りました「ロータリアンの守るべき道」を配布させていただきました。我々原点に立ち戻りもう一度『あま RC』を盛り上げていこうではありませんか。

ガバナー補佐 大竹 敬一君



大竹でございます。

ガバナー補佐としてやるべきことは、大きなものとしてはガバナー補佐訪問、IM、そしてゴルフ大会、この三つが主な仕事でございます。現在、そのうち七つが終わり、あと二つ残っているという状況です。IM にしてもゴルフ大会にしても、これから皆さんと一緒に取り組んでいただくことなので、改めてご説明は不要かと思います。

地区のお仕事として、実は東海さんからお話がありましたが、公共イメージ向上委員会が私の担当になっております。これは私も知らなかったのですが、ガバナー補佐になると担当委員会が決まるのです。私の場合は公共イメージ向上委員会でございます。本日この後、東海委員長と一緒に、2760 地区公共イメージ向上委員会の委員長会議に出席いたします。

公共イメージ向上という言葉は、実はあまり好きではなく、最初に委員会に出たときに「私はこの言葉が嫌いです。ロータリーは隠匿であって、こんなことやっていますと表にアピールするものではない」と宣言したほどでした。しかし、委員長が一生懸命取り組んでおられる姿を拝見し、これは大切なことかもしれないと感じ、2 回目、3 回目も委員会に出席いたしました。

内容をすべて理解できているわけではありませんが、要するに「公共イメージを良くしましょう」ということです。一つわかったのは、良いことをしているならば、それを売り込むのではなく、自然に新聞に取り上げてもらうなど、そうした形で伝えるのは悪いことではないという考えに変わってきたということです。

今日も合同委員会で講評を行うことになっております。私のような者が講評などできるのかと不安もありますが、後ほど東海委員長を前にして講評をさせていただきます。そのようなことを地区では担当しております。以上です。

西尾張分区 分区幹事・地区防災対策委員会 白井 幹裕君



こんにちは。

私は、2025-26年度から2760地区の防災対策委員会に出向しています。同地区の組織図の中では、地区戦略計画委員会のもとに、危機管理委員会と防災対策委員会とが設けられています。

同地区は、神野重行力バナー年度の2017年11月19日、愛知県との間で「愛知県の防災取組に対する地域防災力向上の相互協力に関する協定」を締結し、その協定に基づき、防災対策委員会が設置されたと伺っています。本年度は、安城RCの細井英治委員長のもと副委員長2名および平委員8名の13名で取り組んでいます。8名は、8分区の各分区幹事に委嘱されています。

活動としては、RFFの会場に起震車を導入し、防災意識の啓発を行っています。また各地域の防災対策を検討するため、第1回委員会では、愛知県防災安全局防災部の防災危機管理課の方をおよびして防災に関する知見を得ています。その後に懇親会もあり、楽しく意見交換ができています。

西尾張分区 分区幹事につきましては、大竹敬一カバナー補佐から声をかけていただき、2025-26年度の2760地区西尾張分区分区幹事を務めています。西尾張分区には9RCがありますので、9年に一度、当クラブにその担当がまわってきますが、9年前の事情を確認することが困難な事情もあり、手探りで進めています。

分区行事の準備のために当クラブ内に実行委員会の設置をお願いするとともに、現在は大竹ガバナー補佐に同行して各クラブを訪問し、その手となり足となって活動しています。各クラブは、それぞれ所在する地域との関係で、種々の奉仕活動を展開し、一段とロータリー活動の広さと深さを実感しています。

地区職業奉仕委員会 加藤 徹君



地区職業奉仕委員会に出向して4年目になります。

地区委員会の目的はロータリー活動の主役である各クラブのサポートを行うことです。その中で地区職業奉仕委員会はロータリアンの心の規範である「職業奉仕の精神」を（クラブに毎年新しい仲間が増える中でも）自然に各クラブ内で継承していただけるようにお手伝いする事を役目としています。

ここ数年は「四つのテスト」に照らし合わせて各自の仕事を考えてみるという手法を用いて各クラブにお伝えしています。これは、いつも「みんなのためになるかどうか」を考えて仕事をしている人達の集まりがロータリアンですよという、まさにダイレクトな「公共イメージ向上」です。今年のクラブ職業奉仕委員長会議は8月21日、22日の2日間、場所も名古屋と豊橋にて行いました。より多くのクラブ委員長さんにご参加いただくためです。あまロータリークラブからも服部委員長に出席してもらい熱心に意見交換を行ってもらいました。

前半の大きなイベントはこのクラブ委員長会議でしたが今後は個別のクラブ支援に移っていきます。地区委員会のメンバーは私を含めて8名。いろいろな分区から出向してもらっています。2か月に1度ペースの委員会開催時には有志による懇親会を毎回行っており楽しいひと時を過ごしています。

今年は昨年度あまロータリークラブの武井委員長が主催した伊那食品工業の会社訪問に刺激を受けて、天白区のロータリアン会社（株）マルワさんを会社訪問してきました。地域への奉仕、環境への配慮、子どもたちの職場体験などまさにロータリアン会社ここにありという事業内容に、その後の懇親会「平針ナイト」が大いに盛り上がったのは言うまでもありませんでした。

地区国際奉仕委員会 服部 竜也君



皆さん、こんにちは。

本日は、私たちロータリークラブ 2760 地区・地区国際奉仕委員会より、各クラブの国際奉仕委員会の皆さまに向けた活動提案と、私たちの役割についてご紹介させていただきます。私たち地区国際奉仕委員会の役割は、各クラブが国際奉仕活動を円滑に行えるようサポートし、実現可能で具体的なアイデアを共有することです。

現在、私たちが特に推進しているのは、以下の4つの提言に基づいた国際奉仕活動です：

✓ 提言①：職業奉仕との連携

会員一人ひとりの専門性や職業上の経験を活かすことで、実践的で持続可能な国際奉仕活動を目指します。

✓ 提言②：活動のパッケージ化

例えば「カンボジアの学校に保健室を設置するプロジェクト」など、1クラブでも取り組みやすい10～20万円程度の支援内容をパッケージとしてご提案しています。

✓ 提言③：国内での国際奉仕の推進

地域の国際交流センターや地元の企業・団体と連携し、外国人住民との交流会や文化イベントを開催するなど、地域に根ざした国際交流活動を推進します。

✓ 提言④：グローバル補助金の活用

地区の支援を受けながら、グローバル補助金を活用して、より大きなスケールの国際奉仕活動にもチャレンジできる体制づくりを進めています。

これらの提言に基づき、私たちは各クラブがより取り組みやすく、効果的な国際奉仕を行えるよう支援してまいります。ロータリーの理念である「超我の奉仕」、そして「四つのテスト」に照らしながら、共に未来へつながる国際貢献を進めてまいりましょう。

地区米山記念奨学委員会 神野 恭寿君



地区米山記念奨学委員会に出向させていただいております、神野でございます。私も今年から地区へ出向させていただいております。まず大まかにどんなことをやっているのかをご紹介します。

4月20日、地区研修協議会の際に米山の委員長さんたちをお呼びして研修会を行いました。米山委員会は委員の人数も多く、20～25人ほどで構成されております。

次に、5月10日のRFFでは、奨学生の方をお呼びして一緒にドリンクを販売するといった活動をいたしました。さらに、5月24日には春季学生・学友合同研修会があり、奨学生と学友の皆さんとで研修を実施しました。

7月19日には米山記念奨学生懇談会が開催されました。奨学生の皆さんはクラブの例会に参加しますが、奨学生同士で交流する機会はなかなか少ないようです。この懇談会もし

ばらくコロナで中断されていましたが、今年から再開されました。参加者はイタリアやアメリカ、キルギスの方々のほか、多いのは中国・ベトナム・ネパールの奨学生でした。本当に優秀な方が多く、公用語は日本語で、皆さん流暢に日本語で会話されているのがとても印象的でした。

そして、9月6日には秋季研修会があり、米山梅吉記念館へ伺いました。記念館での説明は非常に分かりやすく、もし機会があればぜひ一度訪問されるとよいかと思います。

米山梅吉さんについて、私は当初「東京ロータリーを立ち上げ、私財を投じて活動した裕福な方」というイメージを持っていました。しかし実際は養子であり、幼い頃からとても頭が良く神童と呼ばれていたものの、自分の人生を見つめ直し、歩いて東京へ出て勉強し、アメリカへ留学もした苦学生だったそうです。

1952年、東京ロータリーが米山基金の構想を発表しました。戦後、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために日本で平和を肌で感じてもらうことが目的でした。現在では、日本と母国の架け橋となっていくために多くの国から奨学生を招いています。米山基金に強く感謝しているモンゴルのバットさん（現在は大臣）をはじめ、各国で活躍する卒業生もいます。そのような方々が増えることは、日本にとって将来、国際的な助けを得る大きな力になるのではないかと思います。

地区資金推進委員会 武井 正君



資金推進委員会に出向をしております、武井でございます。資金推進委員会とはどういうものかご説明いたしますと、資金推進委員会開催時に各クラブ寄付状況の確認による寄付推進を図ります。

- ・財団月間の卓話勉強会にて各クラブの財団委員長に寄付目標をクラブへ伝えられるようにします。

また恒久基金寄付についても各クラブに伝えられるように案内します。

- ・オンライン寄付、自動寄付など様々な寄付方法を案内して寄付推進に繋がります。
- ・PHS,PPS の入会推進により安定した寄付をいただける方を増やし、また入会された方のフォロー（ニュースレター）をします。
- ・ロータリーカードのクラブカード発行を推進します
- ・財団への理解を深め、寄付に繋げるためリーフレットを作成します。
- ・各セミナー、地区大会、チャリティーゴルフにてポリオ委員会協力のもと寄付の推進を行います。

今後のスケジュール（10月）

6日	(月)	クラブフォーラム（第2522回） 担当 神野恭寿 米山奨学委員長
13日	(月)	休会（スポーツの日）
20日	(月)	秋の夜間例会（第2523回） 担当 川島謙一 親睦活動委員長
27日	(月)	ポリオ例会（第2524回） 担当 山田朝子 プログラム委員長

週報ロータリーの歴史

【No.4】

ポール・ハリスと最初期の3人のメンバーが集まって鉦山技師ローアの事務所でクラブの構想を語り合ったのが1905年2月23日でした。従って、この日にはまだ、クラブの名称も、会合の間隔や持ち方も、そして会合の目的も文章化されていませんでしたので、普通に見れば、この日とそれ以降の数回の会合は、クラブ創立準備会といえるでしょう。

しかし歴史家は、1つひとつの事態をたいそうに義務付ける傾向にあり、ロータリーは後日、この日を「創立記念日」に指定しました。従って当初のロータリーの年度は、2月に始まって1月に終わるものでした。

現在のロータリー年度が7月に始まって6月に終わる形になっているのは、世界中のクラブの連合体でしかなかった「国際ロータリークラブ連合会」が、独立した組織である「国際ロータリー（RI）」に移行したのが、1922年7月だったからです。